

2024年度決算の概要及び 2025年度業績予想の概要

三井化学株式会社

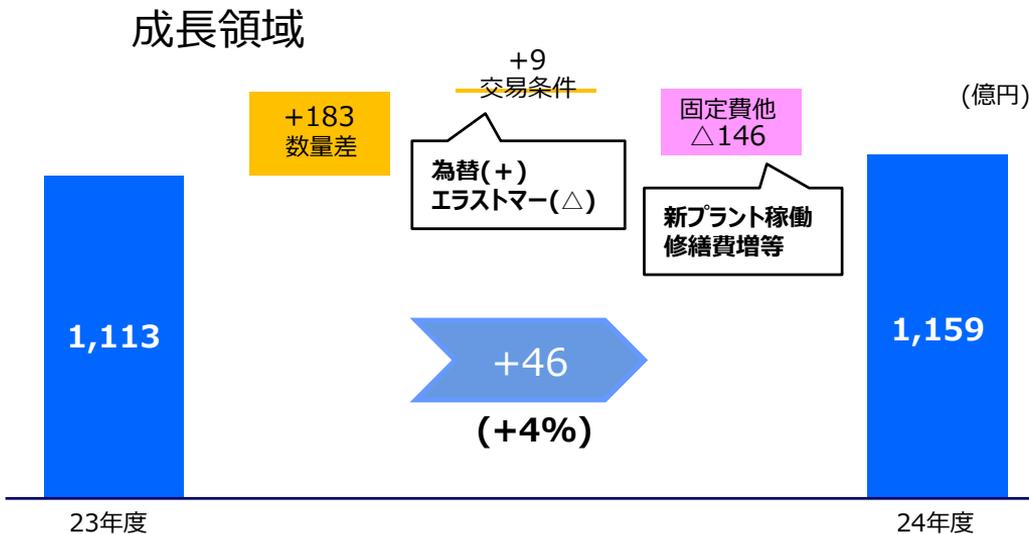
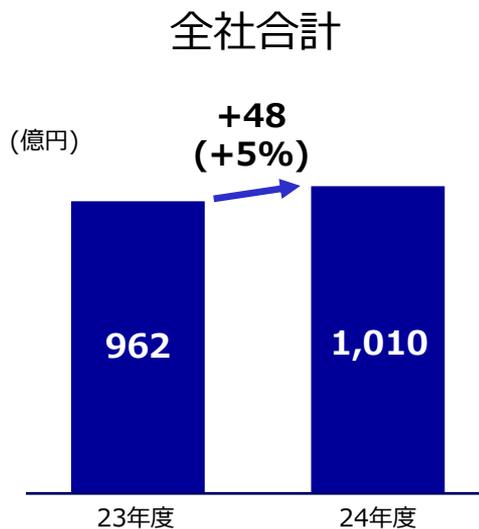
本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2025年5月13日

2024年度決算発表のポイント

- 全社のコア営業利益は、エチレンプラントトラブル影響（△105億円程度）があったものの、成長領域の販売数量増加およびベーシック&グリーン・マテリアルズの値上げや事業構造改善の進展により前年比+48億円（+5%）増益の1,010億円となった。
- 成長領域のコア営業利益は、新プラントの稼働や人件費・資機材費等の高騰による固定費増加に対し、販売数量は全般的に堅調に推移したため、+46億円（+4%）増益の1,159億円となった。

■ コア営業利益増減



2024年度決算発表のポイント 対前回予想

コア営業利益は、主にICTソリューションセグメントにおける販売数量が減少したことにより、前回発表予想数値を下回る結果となった。

営業利益は、コア営業利益の減少に加え、主にライフ&ヘルスケアソリューションセグメントにおいて持分法適用会社の減損損失を約80億円計上したことにより、前回発表予想数値を下回る結果となった。

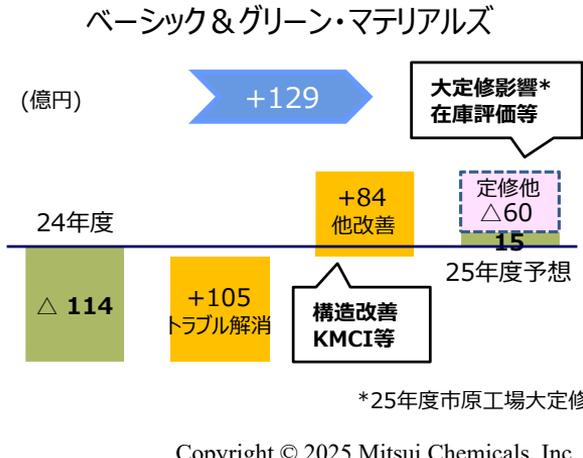
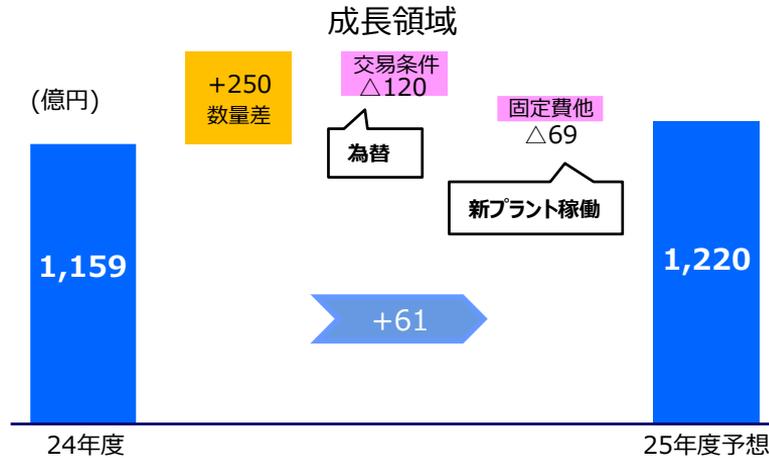
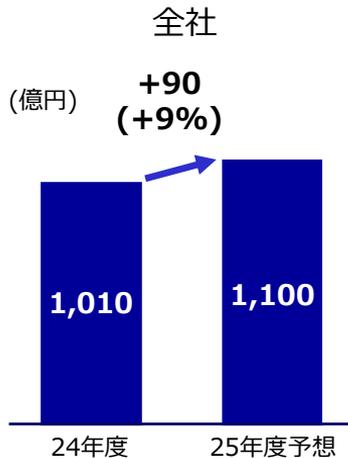
当期利益は、営業利益の減少に加え、当期の業績及び経営環境を鑑み、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、法人所得税費用が増加し、前回発表予想数値を下回る結果となった。

	売上収益	コア営業利益	営業利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,825,000	105,000	94,000	66,000	56,000	296.24
当期実績(B)	1,809,164	100,957	78,336	42,629	32,242	170.56
増減額(B-A)	△ 15,836	△ 4,043	△ 15,664	△ 23,371	△ 23,758	
増減率(%)	△0.9%	△3.9%	△16.7%	△35.4%	△42.4%	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	1,749,743	96,234	74,124	53,775	49,999	262.99

2025年度業績予想のポイント

- 全社のコア営業利益は、成長領域の事業拡大に加え、ベーシック&グリーン・マテリアルズの事業構造改善およびトラブル影響の解消により前年比+90億円(+9%)増益の1,100億円を見込む。
 - 成長領域は円高による為替差損はあるものの、ライフ&ヘルスケアはビジョンケア・農薬を中心に堅調、モビリティは自動車用途拡販および多用途展開の進展、ICTは市場回復・先端領域の需要拡大に伴い、販売数量増加を見込む。
 - ベーシック&グリーン・マテリアルズは事業構造改善およびエチレンプラントトラブル影響の解消により黒字転換を見込む。
 - 関税影響については不透明であり、主に農薬・自動車・半導体分野で△80億円程度*の損益影響をその他セグメントに見込むが、各事業セグメントではリスクだけでなくグローバルな拠点の活用による販売機会の獲得を図る。また全社を挙げたコスト構造改善により影響を最小化する。（*主に各拠点から米国への直接輸出に対する影響を見込む）

■ コア営業利益増減



目次

1. 2024年度決算の概要	
1) 主要関連市場動向	…1
2) 主な投資案件等の状況	…2
3) 2024年度決算の概要	…3-4
4) セグメント別 売上収益/コア営業利益増減（対前年）	…5
5) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向（対前年）	…6-9
6) 非経常項目の内訳	…10
7) 財政状態計算書	…11
8) キャッシュ・フロー計算書	…12
2. 2025年度業績予想の概要	
1) 業績予想の概要	…13-14
2) セグメント別 売上収益/コア営業利益予想（対前年）	…15
3) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向（対前年）	…16-19
4) キャッシュ・フロー計算書の予想	…20
5) 株主還元	…21
3. 補助資料	…22-29

1. 2024年度決算の概要

24年度より、本州化学工業(株)他、ICTソリューションおよびベーシック&グリーン・マテリアルズの一部の関係会社の帰属セグメントを見直しております。23年度のセグメントも、変更後の報告セグメント区分に基づき作成しております。

1) 主要関連市場動向

関連市場		24年度	23年度 → 24年度	25年度	24年度 → 25年度
ライフ& ヘルスケア・ ソリューション	メガネレンズ市場	堅調に推移		引き続き堅調に推移	
	農薬市場	堅調に推移も 一部地域で在庫調整		引き続き堅調に推移も 一部地域で在庫調整	
モビリティ ソリューション	自動車生産台数(世界) *				
	日本	中国を除き生産台数は減少		グローバルな生産台数に 大きな変化なし	
	北米				
	中国				
	ASEAN				
欧州					
ICT ソリューション	半導体市場	需要は回復傾向		引き続き需要は回復傾向	
	スマートフォン市場	需要は回復傾向		需要は前年並みに推移	
ベーシック& グリーン・ マテリアルズ	クラッカー稼働率	低稼働		低稼働継続	

* 外部機関参考による当社推定値

2) 主な投資案件等の状況

主な投資案件		時期	能力	FY22	FY23	FY24	FY25	FY26以降
ライフ & ハルスケア・ソリューション	メガネレンズ加工機メーカー買収	22年11月	-					
	不織布事業JV設立@Japan	23年10月	-					
	メガネレンズモノマー能力増強@Japan	24年1月	-					
	メガネレンズモノマー能力増強@Japan 2025.01.15公表	28年度上期	-					
	DNAチップ研究所社完全子会社化	25年度	-					
モビリティソリューション	タフマー [®] 新設@Singapore	25年度下期	120KT					
	高機能PP新設備@Japan	25年度下期	200KT					
ICTソリューション	アベル [®] 新プラント@Japan	22年6月	+50%					
	ベリカル事業買収	23年7月	-					
	イクロステーブ [™] 能力増強@Taiwan	24年6月	380万㎡					
	三井化学東セロの株式分割及び一部株式譲渡	24年4月	-					
	ポリウレタンディスパージョン(PUD)能力増強@Japan	25年6月	+100%					
	特殊イソシアネートXDI能力増強@Japan	25年9月	+20%					
	次世代EUV露光用CNTベリカル生産設備@Japan	25年12月	5千枚					
半導体実装領域における材料開発強化に向けた出資	25年3月	-						
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	錦湖三井化学 MDI能力増強@Korea	24年9月	200KT					
	バイオマス原料調達拡大に向けた出資	22年6月	-					
	PPG生産におけるLLP設立	23年5月	-					
新事業・新製品	CVC設立	22年7月	-					

最適化・再構築	高純度テレフタル酸(PTA)生産停止@Japan	23年8月	400KT	生産停止				
	ポリエチレンテレフタレート(PET)の生産停止@Japan	24年10月	145KT	生産停止				
	TDI生産能力最適化@Japan	25年7月	120KT→50KT				生産能力最適化	
	市原フェノールの生産停止@Japan	26年度	190KT					生産停止
	千葉地区LLPエチレン装置集約による生産最適化の検討開始	27年度	-				検討開始	生産最適化
	フェノール子会社株式譲渡@Singapore	23年3月	-	株式譲渡				
	モビリティセグメント子会社株式譲渡@Japan(産業資材)	25年4月	-				株式譲渡	

3 - 1) 2024年度決算の概要

(単位：億円)

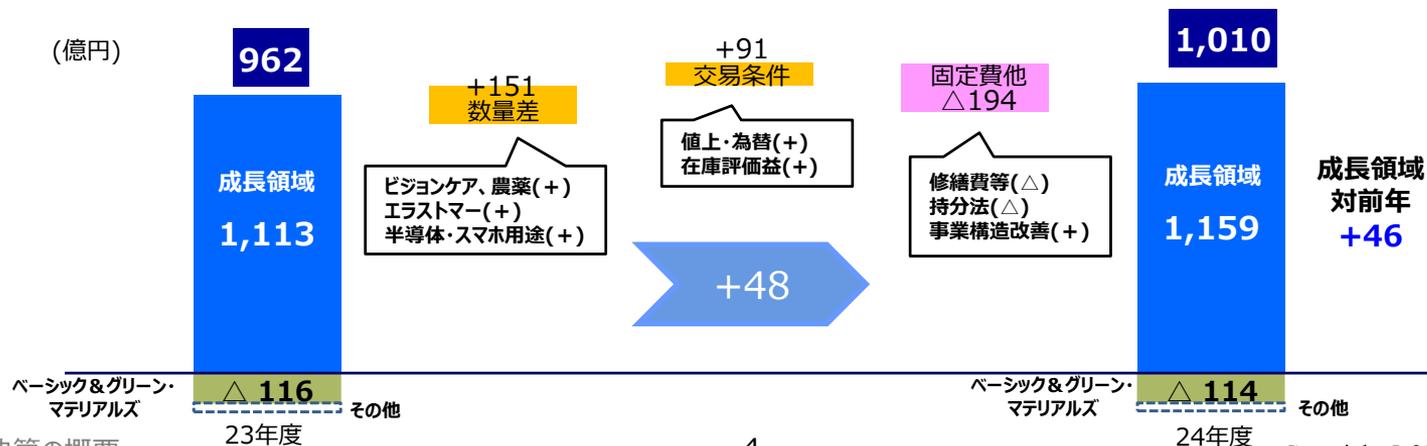
摘 要	23年度	24年度	増減	増減率
売上収益	17,497	18,092	595	3%
コア営業利益	962	1,010	48	5%
(うち、持分法による投資損益)	130	124	△ 6	△5%
非経常項目	△ 221	△ 227	△ 6	-
営業利益	741	783	42	6%
金融収益・費用	△ 8	△ 67	△ 59	-
税引前利益	733	716	△ 17	△2%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	500	322	△ 178	△36%

為替レート(円/US\$) 145 153 + 8

国産ナフサ(円/KL) 69,100 75,600 + 6,500

3-2) 2024年度決算の概要：コア営業利益（対前年）

項目	内容	損益増減
数量	・ビジョンケアは23年度在庫調整影響の解消により販売数量は増加。	(+)
	・農薬は一部在庫調整の影響はあるものの海外を中心に販売数量は増加。	(+)
	・自動車用途堅調および多用途展開によりエラストマーの販売数量は増加。	(+)
	・半導体関連は半導体、スマートフォン市場の回復により販売数量は増加。	(+)
交易条件	・値上げ及び為替影響により交易条件は改善。	(+)
	・原料価格上昇に伴う在庫評価益。	(+)
固定費他	・人件費・資材費高騰による修繕費、研究開発等の資源投入によりコストは増加。	(△)
	・持分法投資損益の減少。	(△)
	・事業構造改善による収益改善。	(+)



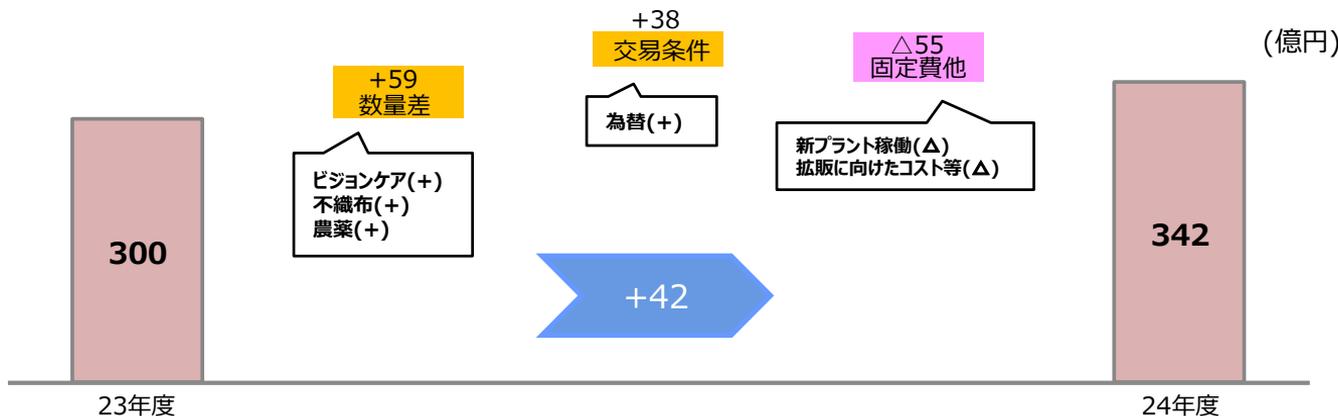
4) セグメント別 売上収益/コア営業利益増減 (対前年)

(単位: 億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	23年度	24年度	増減	23年度	24年度	増減	数量差	交易条件	固定費他
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	2,717	2,958	241	300	342	42	59	38	△ 55
モビリティソリューション	5,440	5,698	258	577	559	△ 18	62	△ 35	△ 45
ICソリューション	2,594	2,188	△ 406	236	258	22	62	6	△ 46
成長領域	10,751	10,844	93	1,113	1,159	46	183	9	△ 146
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	6,599	7,100	501	△ 116	△ 114	2	△ 32	82	△ 48
その他	147	148	1	△ 35	△ 35	0	-	-	0
合計	17,497	18,092	595	962	1,010	48	151	91	△ 194

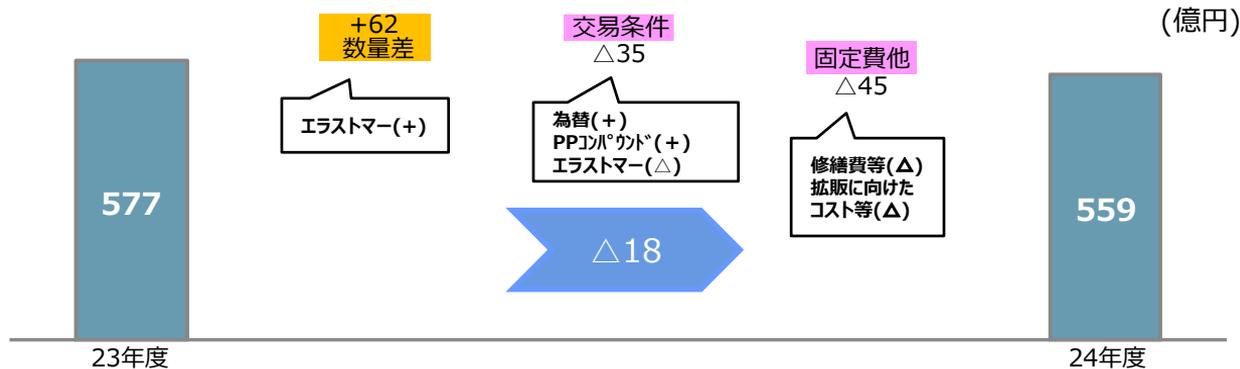
5-1) ライフ&ヘルスケア・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向 (対前年)

	24年度決算/事業動向		主要増減要因
ビジョンケア		<ul style="list-style-type: none"> ・23年度の在庫調整影響の解消による販売数量増加 ・新プラント稼働による固定費増加(MR™) 	数量(+) 固定費(Δ)
不織布		<ul style="list-style-type: none"> ・事業統合による販売数量増加 	数量(+) 固定費(Δ)
オーラルケア		<ul style="list-style-type: none"> ・販売は前年並みに推移 	-
農薬		<ul style="list-style-type: none"> ・一部地域で在庫調整の影響はあるものの販売は堅調に推移 ・円安による為替差益 ・拡販に伴う登録維持費、試験費等の研究費が増加 	数量(+) 為替(+) 固定費(Δ)



5-2) モビリティソリューション:コア営業利益増減/事業動向 (対前年)

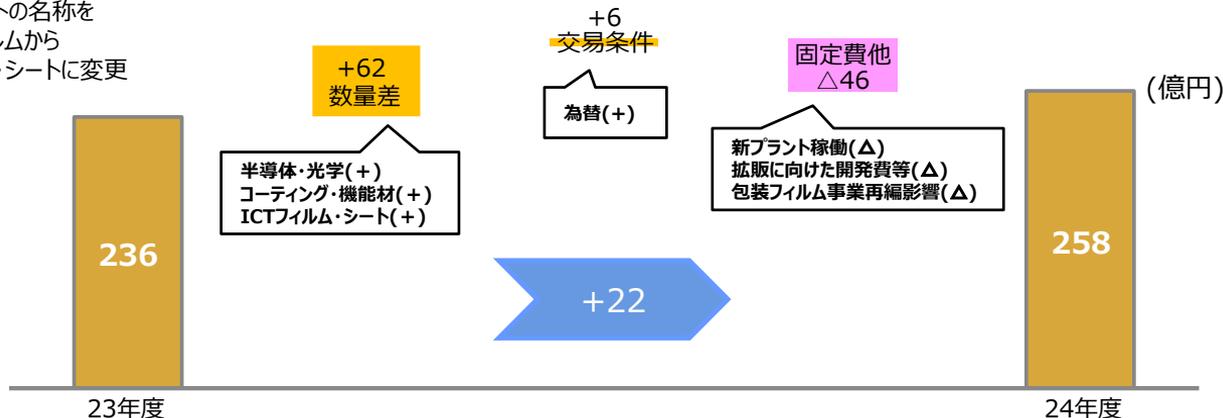
	24年度決算/事業動向	主要増減要因
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> 自動車用途を中心に販売数量増加 成長市場への多用途展開による販売数量増加 円安による為替差益 一時的な市場環境変化に伴う交易条件悪化 	数量(+) 為替(+) 交易条件(Δ) 固定費(Δ)
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> 日本・アセアンでは自動車生産台数が減少した影響を受けたものの北米の販売堅調により、グローバルでの販売は前年並みに推移 円安による為替差益 価格改定による一時的な交易条件改善 	為替(+) 交易条件(+)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> 自動車市場回復に伴う受注増 拡販に向けたコスト等の増加 	数量(+) 固定費(Δ)



5-3) ICTソリューション:コア営業利益増減/事業動向 (対前年)

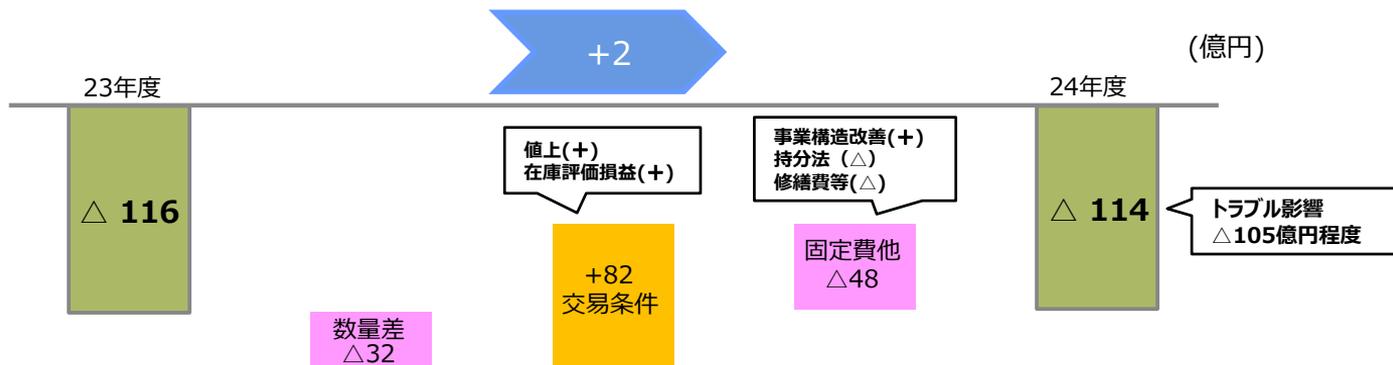
	24年度決算/事業動向	主要増減要因
半導体・光学	<ul style="list-style-type: none"> 半導体及びスマートフォン市場の需要回復による販売数量増加 円安による為替差益 拡販に向けたコスト等が増加 	数量(+) 為替(+) 固定費(Δ)
コーティング・機能材	<ul style="list-style-type: none"> 販売は堅調に推移 円安による為替差益 	数量(+) 為替(+) 固定費(Δ)
ICTフィルム・シート*	<ul style="list-style-type: none"> 半導体市場の需要回復による販売数量増加 円安による為替差益 新プラント稼働により固定費増加(イクロステーブ™) 	数量(+) 為替(+) 固定費(Δ)

*サブセグメントの名称を
産業用フィルムから
ICTフィルム・シートに変更



5-4) ベーシック&グリーン・マテリアルズ:コア営業利益増減/事業動向 (対前年)

	24年度決算/事業動向	主要増減要因
石化	<ul style="list-style-type: none"> ・値上げによる取引条件改善 ・23年度の在庫評価損解消 ・人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト上昇 	取引条件(+) 在庫(+) 固定費(△)
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> ・値上げによる取引条件改善 ・23年度の在庫評価損解消 ・事業構造改善による収益改善 ・人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト上昇 ・持分法投資損益の減少 	取引条件(+) 在庫(+) 構造改善(+) 固定費(△) 持分法(△)
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト上昇 	固定費(△)



6) 非経常項目の内訳

(単位：億円)

摘 要	23年度	24年度	増減
固定資産処分・売却損益	△ 12	△ 48	△ 36
減 損 損 失 *	△ 242	△ 185	57
そ の 他	33	6	△ 27
非経常項目 合計	△ 221	△ 227	△ 6

*主な減損損失の内訳

23年度	ICTソリューション：△110 包装フィルム事業再編影響 ベーシック&グリーン・マテリアルズ：△128 事業構造改善影響	24年度	・ライフ&ヘルスケア・ソリューション：△109 持分法適用会社の減損損失等 ・ベーシック&グリーン・マテリアルズ：△61 事業構造改善影響
------	---	------	--

7) 財政状態計算書

(単位：億円)

摘 要	24年3月末	25年3月末	増減	摘 要	24年3月末	25年3月末	増減
流動資産	(11,506)	(10,412)	(△ 1,094)	負債	(12,310)	(11,834)	(△ 476)
現金及び 現金同等物	2,103	1,706	△ 397	営業債務	1,799	1,578	△ 221
営業債権	3,659	3,495	△ 164	有利子負債	8,115	7,917	△ 198
棚卸資産	4,511	4,428	△ 83	その他	2,396	2,339	△ 57
その他	1,233	783	△ 450				
非流動資産	(10,652)	(11,128)	(476)	資本	(9,848)	(9,706)	(△ 142)
有形固定資産及び 使用権資産	6,521	6,692	171	親会社の所有者に 帰属する持分	8,629	8,483	△ 146
のれん及び 無形資産	764	873	109	非支配持分	1,219	1,223	4
非流動の その他の資産	3,367	3,563	196				
合 計	22,158	21,540	△ 618	合 計	22,158	21,540	△ 618

包装フィルム事業の再編に加え、有利子負債の返済および自己株式取得による現金の減少により資産は△618億円減少した。

(単位：億円)

摘 要	23年度	24年度	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	1,613	2,005	392
(うち運転資金)	△ 96	87	183
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 1,239	△ 1,650	△ 411
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	374	355	△ 19
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 260	△ 744	△ 484
IV. その他	126	△ 8	△ 134
現金及び現金同等物増減	240	△ 397	△ 637

主に運転資金の改善等により過去最高となる2,000億円超の水準となったことで、新光電気工業株式会社の株式取得を目的とした特別目的会社への出資等、成長領域での積極投資を行った中でもフリーキャッシュ・フローは前年並みを確保した。

2. 2025年度業績予想の概要

・25年度より、エム・エーライフマテリアルズ株式会社はライフ&ヘルスケア・ソリューションからICTソリューションへ帰属セグメントを見直しております。また、他一部の関係会社についてモビリティソリューションからICTソリューションへ帰属セグメントを見直しております。
なお、24年度のセグメントも、変更後の報告セグメント区分に基づき作成しております。

1 - 1) 業績予想の概要 (対前年)

(単位：億円)

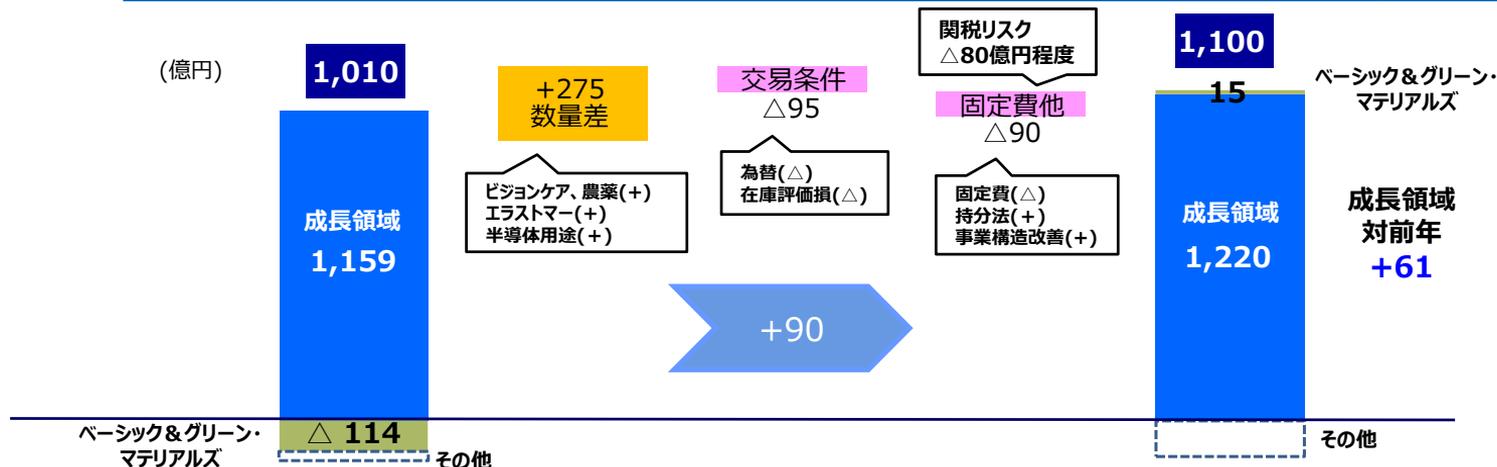
摘 要	24年度	25年度	増減	
	年度決算	年度予想	年度	%
売上収益	18,092	17,700	△ 392	△2%
コア営業利益	1,010	1,100	90	9%
非経常項目	△ 227	△ 120	107	—
営業利益	783	980	197	25%
金融収益・費用	△ 67	△ 80	△ 13	—
税引前利益	716	900	184	26%
親会社の所有者に帰属する当期利益	322	550	228	71%

為替レート(円/US\$) 153 140 △ 13

国産ナフサ(円/KL) 75,600 65,000 △ 10,600

1-2) 業績予想の概要：コア営業利益（対前年）

項目	内容	損益増減
数量	・ビジョンケアは需要堅調により販売数量増加を見込む。	(+)
	・農薬は海外での販売数量増加を見込む。	(+)
	・成長市場への多用途展開によりエラストマーの販売数量増加を見込む。	(+)
	・自動車生産台数は伸びないものの、重点地域での拡販によりPPコンパウンドの販売数量増加を見込む。	(+)
	・半導体関連は半導体市場の回復および先端領域の需要拡大により販売数量増加を見込む。	(+)
交易条件	・為替差による交易条件の悪化を見込む。	(△)
	・原料価格下落に伴う在庫評価損を見込む。	(△)
固定費他	・市原大定修影響および新プラント稼働に伴う固定費の増加を見込む。	(△)
	・持分法投資損益の改善を見込む。	(+)
	・事業構造改善による収益改善を見込む。	(+)
	・関税によるリスクを見込むが、コストコントロール等により損益影響の最小化を目指す。	(△)

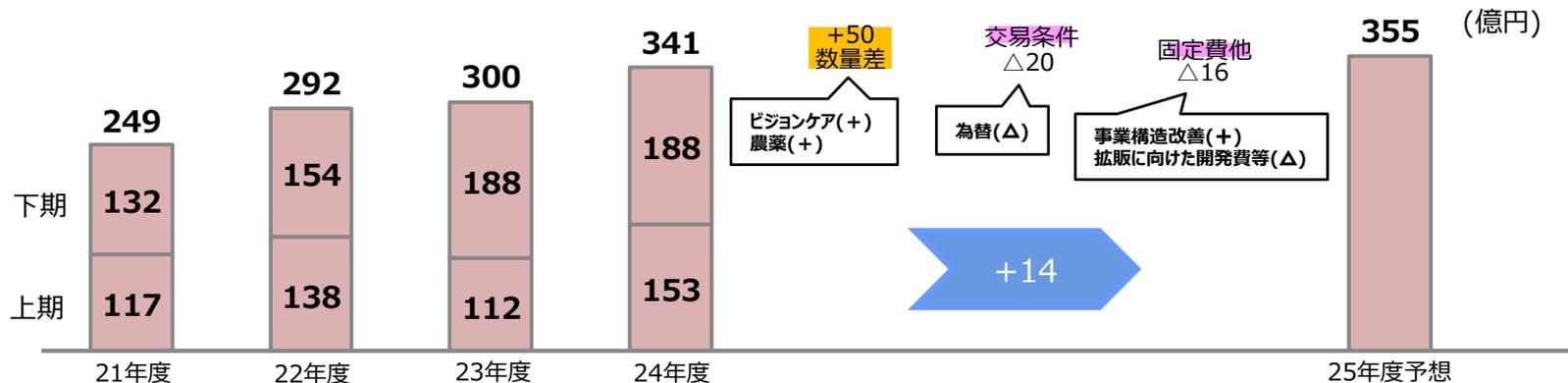


2) セグメント別 売上収益/コア営業利益予想 (対前年)

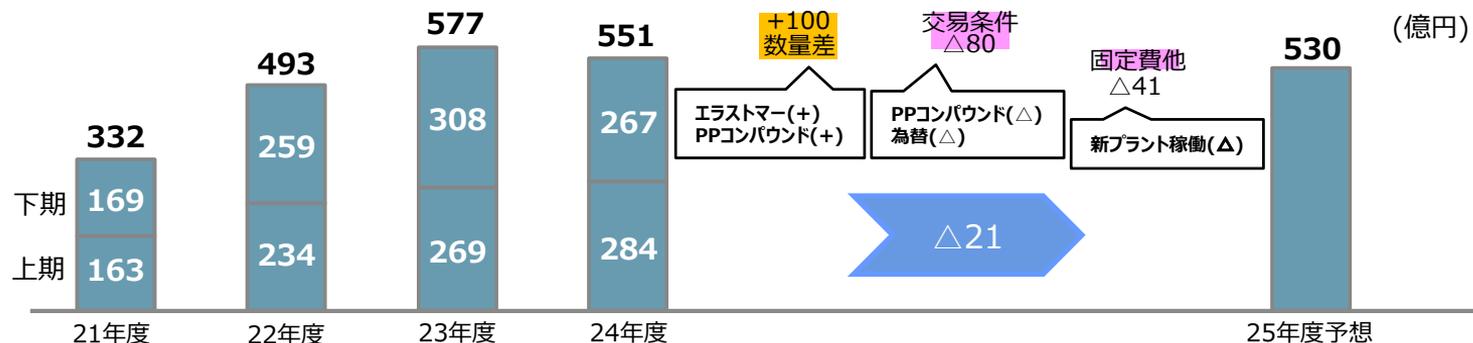
(単位：億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	24年度決算	25年度予想	増減	24年度決算	25年度予想	増減	数量差	交易条件	固定費他
ライフ＆ヘルスケア・ソリューション	2,517	2,600	83	341	355	14	50	△ 20	△ 16
モビリティソリューション	5,551	5,500	△ 51	551	530	△ 21	100	△ 80	△ 41
ICソリューション	2,776	2,900	124	267	335	68	100	△ 20	△ 12
成長領域	10,844	11,000	156	1,159	1,220	61	250	△ 120	△ 69
ベーシック＆グリーン・マテリアルズ	7,100	6,550	△ 550	△ 114	15	129	25	25	79
その他	148	150	2	△ 35	△ 135	△ 100	-	-	△ 100
合計	18,092	17,700	△ 392	1,010	1,100	90	275	△ 95	△ 90

	25年度予想/事業動向	主要増減要因
ビジョンケア	・販売は堅調に推移	数量(+) 固定費(Δ)
オーラルケア	・事業構造改善による収益改善	構造改善(+)
農薬	・一部地域で在庫調整の影響は続くものの、販売は堅調に推移 ・円高による為替差損 ・拡販に伴う登録維持費、試験費等の研究費が増加	数量(+) 為替(Δ) 固定費(Δ)

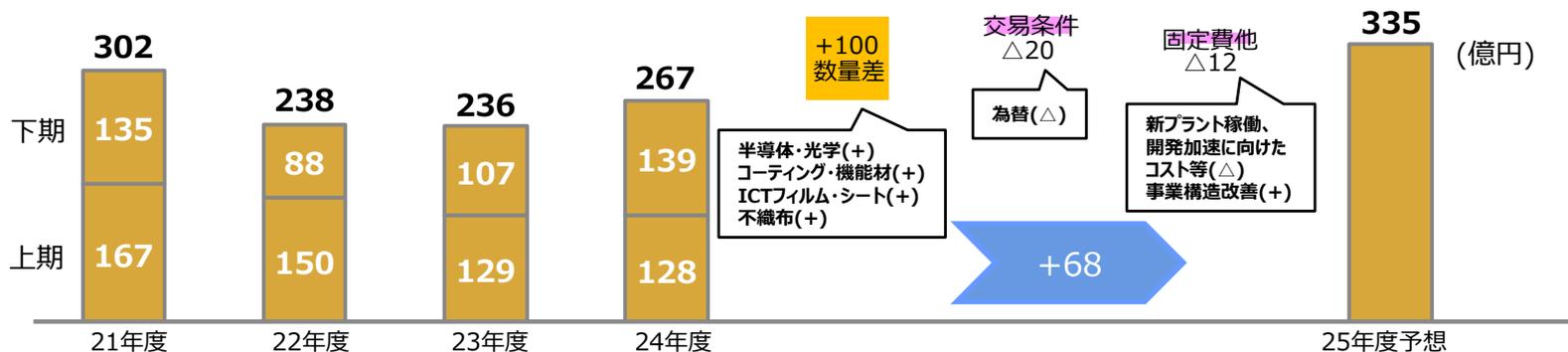


	25年度予想/事業動向	主要増減要因
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> 成長市場への多用途展開による販売数量増加 円高による為替差損 新プラント稼働による固定費増加 (タフマー®) 	数量(+) 為替(Δ) 固定費(Δ)
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> 自動車生産台数は伸びないものの、重点地域での拡販により販売数量増加 円高による為替差損 原料価格変動に伴う価格改定による24年度一時的な交易条件改善の解消 新プラント稼働による固定費増加 (高機能PP) 	数量(+) 為替(Δ) 交易条件(Δ) 固定費(Δ)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> 新規案件獲得による受注増 	数量(+) 構造改善(+)



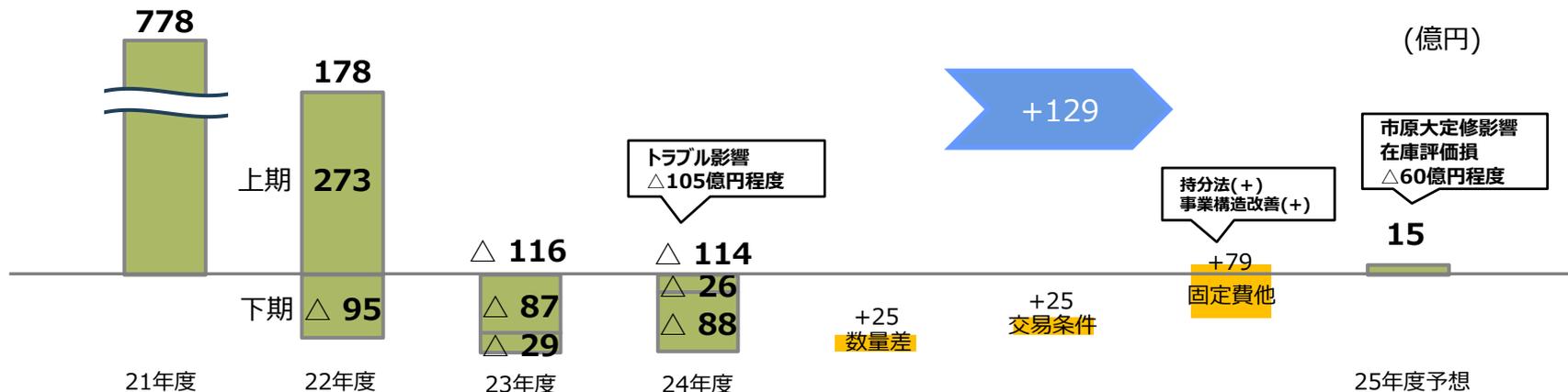
3-3) ICTソリューション: コア営業利益増減/事業動向 (対前年)

	25年度予想/事業動向	主要増減要因
半導体・光学	<ul style="list-style-type: none"> 半導体市場の需要回復、先端領域の需要拡大による販売数量増加 円高による為替差損 新製品開発加速に向けたコスト等が増加 	数量(+) 為替(△) 固定費(△)
コーティング機能材	<ul style="list-style-type: none"> 環境対応包材用途を中心に販売は堅調に推移 円高による為替差損 新プラント稼働による固定費増加 (PUD、特殊イソシアネート) 	数量(+) 為替(△) 固定費(△)
ICTフィルム・シート	<ul style="list-style-type: none"> 半導体市場の需要回復による販売数量増加 円高による為替差損 	数量(+) 為替(△) 固定費(△)
不織布	<ul style="list-style-type: none"> 半導体関連用途を含む産業資材中心に販売数量増加 事業構造改善による収益改善 	数量(+) 構造改善(+)



3-4) ベーシック&グリーン・マテリアルズ: コア営業利益増減/事業動向 (対前年)

	25年度予想/事業動向	主要増減要因
石化	<ul style="list-style-type: none"> ・24年度大阪エチレンプラントトラブル影響の解消 ・原料価格下落による在庫評価損 ・市原大定修影響による固定費増加 	トラブル解消(+) 在庫(Δ) 固定費(Δ)
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> ・原料価格下落による在庫評価損 ・事業構造改善による収益改善 	在庫(Δ) 構造改善(+)
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> ・持分法投資損益の改善 ・事業構造改善による収益改善 	持分法(+) 構造改善(+)



4) キャッシュ・フロー計算書の予想

(単位：億円)

摘 要	24年度決算	25年度予想	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	2,005	2,000	△ 5
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 1,650	△ 1,550	100
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	355	450	95
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 744	△ 450	294
IV. その他	△ 8	0	8
現金及び現金同等物増減	△ 397	0	397

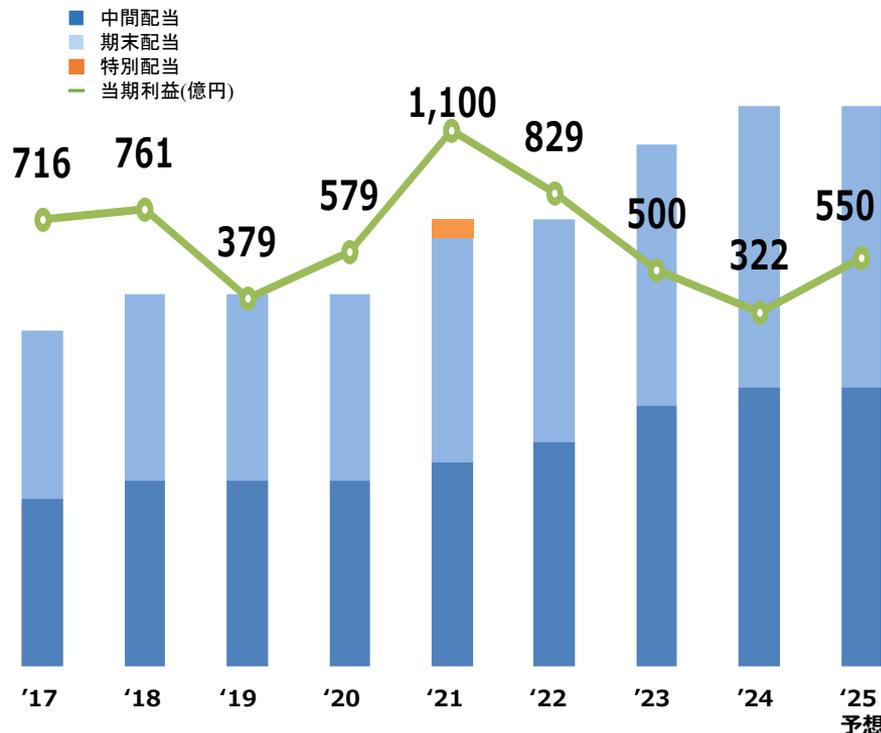
● 25年度配当予想

中間
期末
年間
75 円/株 + **75** 円/株 = **150** 円/株

【還元方針】

資本効率向上と安定的かつ継続的な配当の実現

- ✓ 総還元性向 40%以上
- ✓ DOE 3.0%以上を目指す
- ✓ 機動的かつ柔軟な自己株式取得



配当(円)	90*	100	100	100	120	120	140	150	150
自己株取得(億円)	50	100	100	—	100	100	—	100	—
DOE(%)	3.7	3.7	3.6	3.4	3.5	3.1	3.2	3.3	—
総還元性向(%)	32	39	77	34	30	40	53	119	—

*株式併合後の株式数を基に修正

3. 補助資料

- 1) 製品価格の状況
- 2) 売上収益の増減概要
- 3) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳（四半期別）
- 4) セグメント情報
- 5) データハイライト

1) 製品価格の状況

(P E国内、P P国内、P H国内、B P A国内：国内価格改定幅)

年		2022年			2023年				2024年				2025年
月		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
国産標準 力価価格	(円/KL)	86,100	81,400	72,500	66,500	67,500	63,600	72,800	72,500	79,000	76,900	73,200	73,400
P E国内	(円/KG)	+15円 程度	△10円 程度	△15円 程度	△10円 程度	+8円 程度	△6円 程度	+20円 程度	△3円 程度	+22円 程度	△5円程度	△7円程度	△1円程度
P P国内	(円/KG)	+15円 程度	△10円 程度	△15円 程度	△10円 程度	+8円 程度	△6円 程度	+20円 程度	△3円 程度	+22円 程度	△5円程度	△7円程度	△1円程度
P H国内 (7オミツ価格)	(円/KG)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
B Z (* A C P)	(\$/T)	\$1,230	\$1,120	\$880	\$930	\$940	\$870	\$950	\$995	\$1,085	\$1,040	\$930	\$930
B P A国内	(円/KG)	+32円(4月~) +38円(6月~)	→	△14円 (12月~)	△17円 (3月~)	+16円 (6月~)	→	→	→	+19円 (6月~)	→	△14円 (10月~)	△10円 (1月~)
BZ/BPA市況をベースに都度交渉													
B P A 中国市況	(\$/T)	\$2,060	\$1,580	\$1,450	\$1,300	\$1,250	\$1,260	\$1,280	\$1,260	\$1,310	\$1,320	\$1,250	\$1,240
P T A 中国市況	(\$/T)	\$950	\$840	\$760	\$780	\$800	\$790	\$750	\$770	\$770	\$710	\$630	\$640
P X (* A C P)	(\$/T)	\$1,260	\$1,090	\$980	\$1,030	\$1,030	\$1,070	\$1,010	\$1,030	\$1,040	\$940	\$840	\$860
T D I 中国市況	(\$/T)	\$2,770	\$2,320	\$2,410	\$2,430	\$2,190	\$2,060	\$1,950	\$1,920	\$1,950	\$1,880	\$1,750	\$1,780

* ACP アジア圏契約価格

(単位：億円)

セグメント	売上収益			増減内訳		主要増減要因
	23年度	24年度	増減	数量差	価格差	
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	2,717	2,958	241	183	58	数量) ビジョンケア及び農薬の販売は堅調 価格) 為替影響等
モビリティソリューション	5,440	5,698	258	149	109	数量) エラストマーの販売は堅調 価格) 為替影響等
ICTソリューション	2,594	2,188	△ 406	△ 459	53	数量) 三井化学東セロ株式会社分割及び一部株式譲渡の影響 価格) 為替影響等
成長領域	10,751	10,844	93	△ 127	220	
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	6,599	7,100	501	△ 74	575	価格) 値上げ及び原料価格上昇による価格改定
その他	147	148	1	-	1	
合計	17,497	18,092	595	△ 201	796	

3) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳 (四半期別)

(単位: 億円)

セグメント	売上収益								売上収益*			
	23年度				24年度 (変更前)				24年度 (変更後)			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	571	620	695	831	675	706	684	893	566	589	573	789
モビリティソリューション	1,274	1,339	1,371	1,456	1,439	1,403	1,436	1,420	1,403	1,365	1,397	1,386
ICT ソリューション	630	619	685	660	538	560	549	541	683	715	698	680
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	1,566	1,540	1,726	1,767	1,808	1,702	1,778	1,812	1,808	1,702	1,779	1,811
その他	38	40	31	38	35	38	37	38	35	38	37	38
合計	4,079	4,158	4,508	4,752	4,495	4,409	4,484	4,704	4,495	4,409	4,484	4,704

(単位: 億円)

セグメント	コア営業利益								コア営業利益*			
	23年度				24年度 (変更前)				24年度 (変更後)			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	45	67	73	115	58	99	52	133	59	94	52	136
モビリティソリューション	123	146	141	167	157	131	151	120	155	129	148	119
ICT ソリューション	58	71	70	37	60	60	80	58	62	66	83	56
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	△ 10	△ 77	30	△ 59	40	△ 66	△ 47	△ 41	39	△ 65	△ 47	△ 41
その他	△ 7	4	△ 10	△ 22	△ 13	2	△ 6	△ 18	△ 13	2	△ 6	△ 18
合計	209	211	304	238	302	226	230	252	302	226	230	252

*25年度より、ライフ&ヘルスケア・ソリューション、モビリティソリューションおよびICTソリューションの一部の関係会社のセグメントを見直しております。変更後の報告セグメントで区分した四半期別の24年度の売上収益/コア営業利益となります。

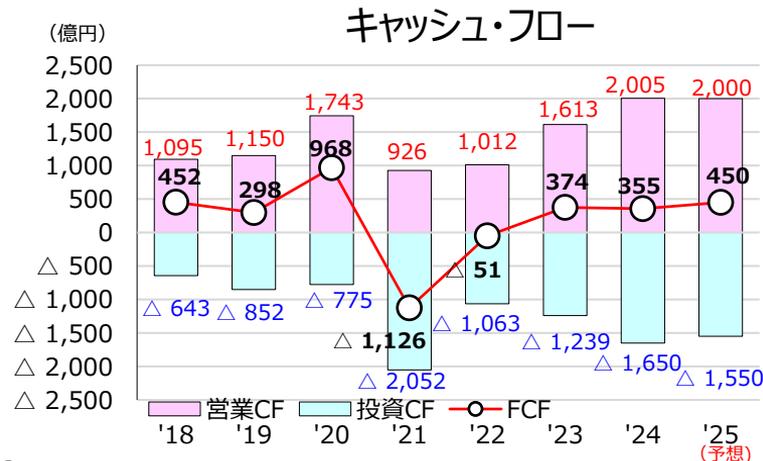
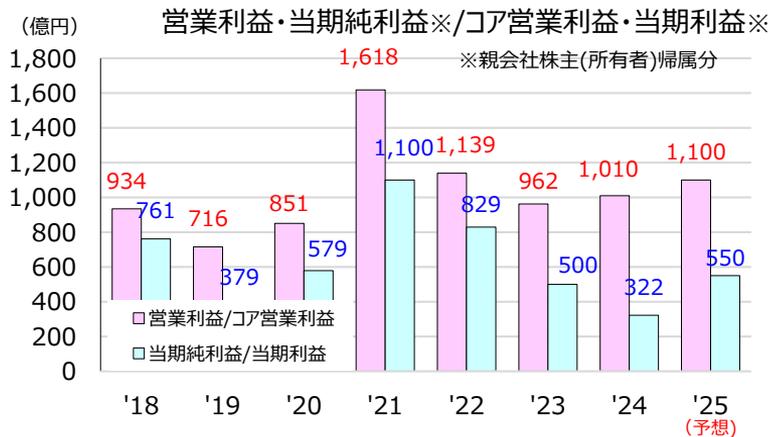
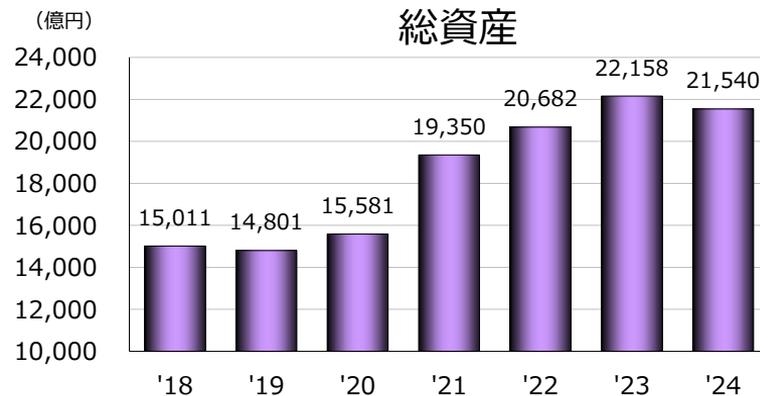
4) セグメント情報

セグメント	事業分野	主な製品等
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	ビジョンケア、 パーソナルケア、不織布*、 オーラルケア、農薬、 医療事業推進室	プラスチックメガネレンズ材料 (MR™、Do Green™)、 メディカル材料 (タウリン)、 不織布* (衛生材料、工業資材)、 オーラルケア材料 (充填材料、接着材料、デジタル機器)、 農薬 (ジノテフラン、テネベナール®)
モビリティソリューション	エラストマー重合、 複合材料、 ソリューション事業、 モビリティソリューション事業推進室	タフマー®、三井EPT™、ルーカント®、 PPコンパウンド、機能性コンパウンド (アドマー®、ミラストマー®、アーレン®)  
ICTソリューション	半導体・光学、 コーティング機能材、 機能性フィルム・シート、 ICT材料事業推進室	三井ペリクル™ (DUV、EUV、FPD)、アベル®、TPX®、半導体用ガス、 高機能食品包装材料 (シーラント、接着剤、コート剤、環境対応包材)、 産業用フィルム (イクロステープ™、SP-PET™)
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	フェノール、PTA・PET、 インダストリアルケミカルズ、 サステナブル・フィードストックズ、 ポリオレフィン、ライセンス、 ポリウレタン材料 グリーンケミカル事業	フェノール、ビスフェノールA、アセトン、PTA、PET、 EO、ハイドロキノン、アンモニア、排ガス低減剤 (アドブルー®*)、 ポリオレフィン、TDI、MDI *アドブルーはドイツ自動車工業会の登録商標です。

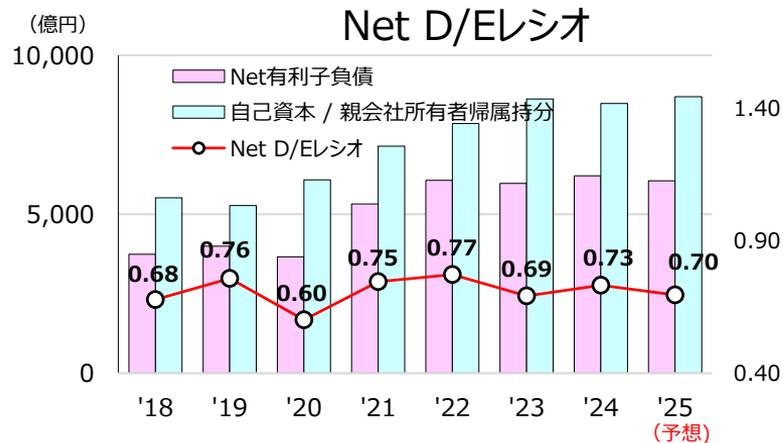
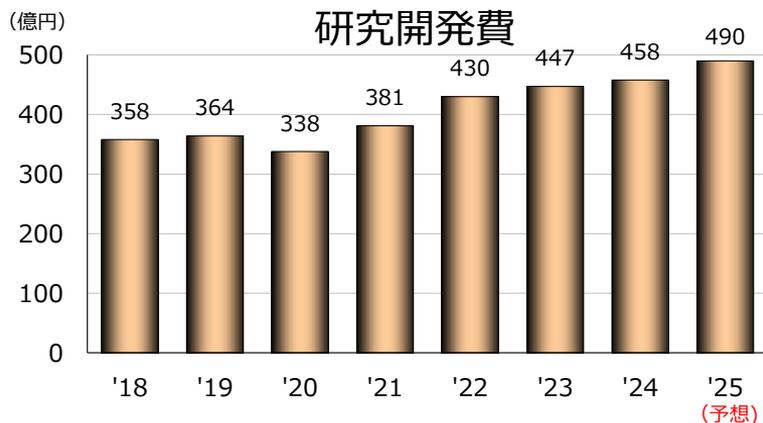
*不織布事業および製品は24年度まではライフ&ヘルスケア・ソリューションですが、25年度からはICTソリューションへセグメントを見直しております。

5-1) データハイライト

注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS



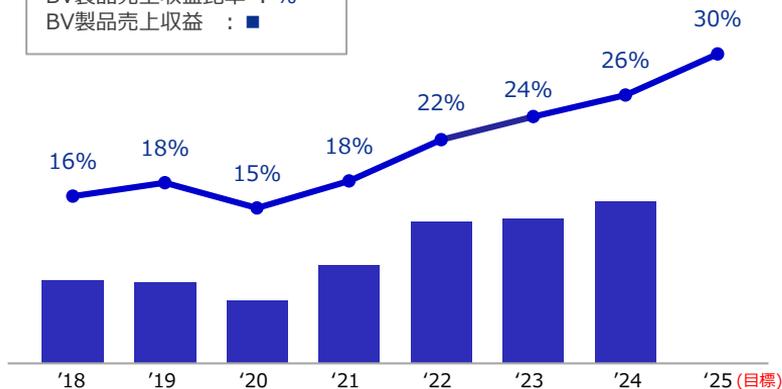
注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS



Blue Value®製品売上収益

環境貢献価値 Blue Value®

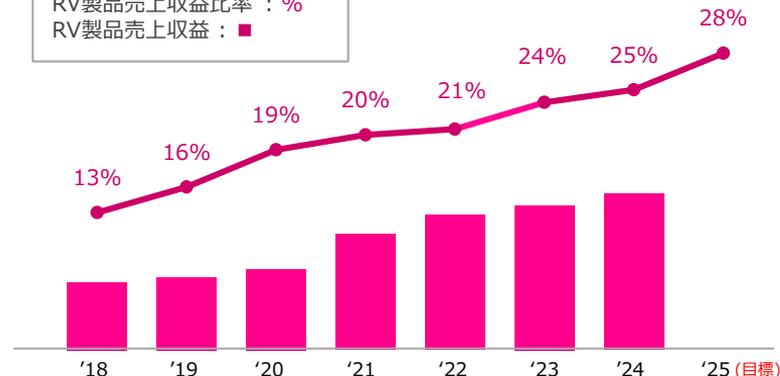
BV製品売上収益比率 : %
BV製品売上収益 : ■



Rose Value®製品売上収益

QOL向上価値 Rose Value®

RV製品売上収益比率 : %
RV製品売上収益 : ■



Blue Value®



事業セグメント別売上収益構成 (2024年度)

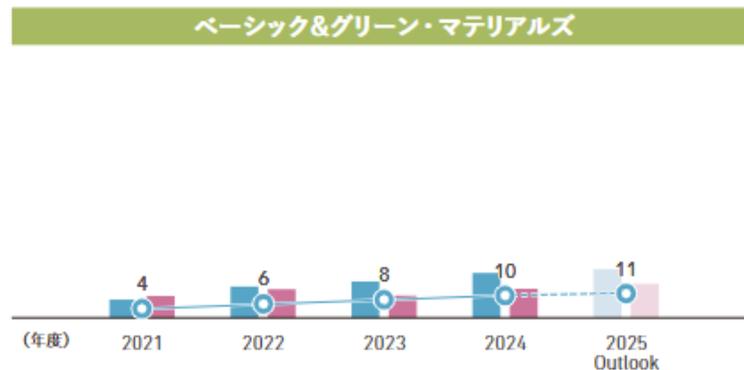
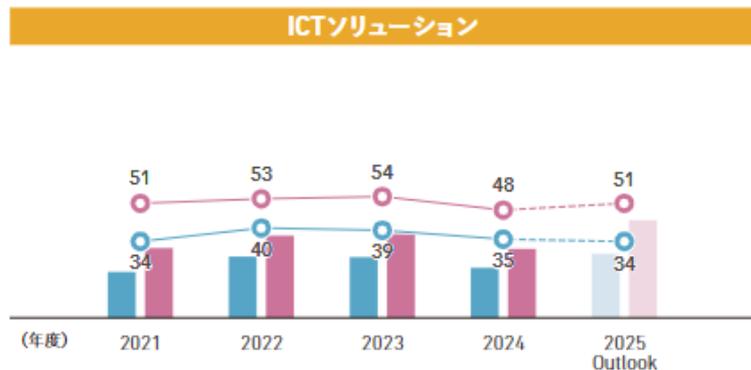
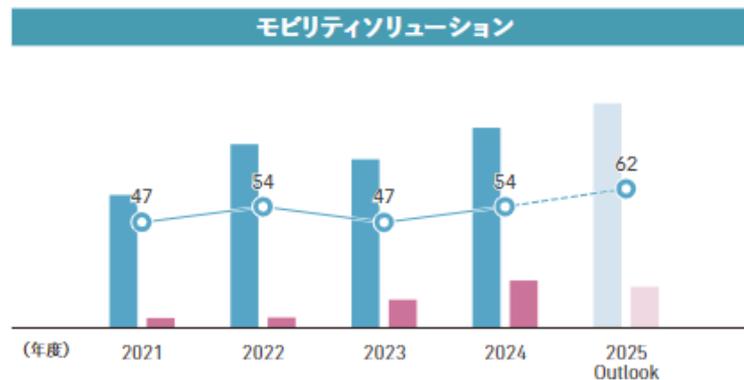
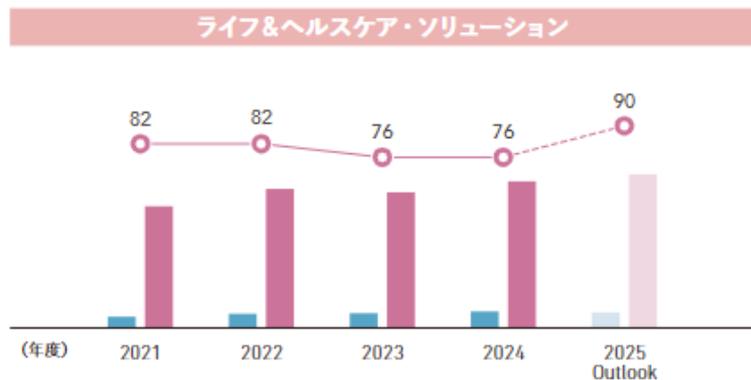
- ライフ&ヘルスケア・ソリューション
- モビリティソリューション
- ICTソリューション
- ベーシック&グリーン・マテリアルズ

Rose Value®



各事業セグメントにおけるBlue Value®製品・Rose Value®製品の売上収益および売上収益比率の推移

■ Blue Value®製品売上収益 ● Blue Value®製品売上収益比率(%) ■ Rose Value®製品売上収益 ● Rose Value®製品売上収益比率(%)



未来が変わる。化学が変える。

Chemistry for Sustainable World



三井化学

Challenge Diversity One Team